

歌壇

櫻井 登世子 選

特選

ささやかな花束買いに町に出ぬ自らを祝う吾が生れし日に

千石 小出 風沙子

賀状書きわが干支の印赤く押し次に使うを静かに思う

向丘 高野 伸子

初雪をほんのり乗せて銀杏の樹聳えていたり尚凜として

本郷 堺 公美

入選

霜柱を初めて目にす幼子はガラスのストロー見つけたと云い

千駄木 上杉 紀世子

ヒビ入りし瀬戸の手焙り結婚の七十年前に暖を取りにし

千駄木 石井 禮子

古き地図見ればわが町殿様の鷹狩り場なりなだらかな山

大塚 加藤 善雄

墜ちた理由明かさずまた翔ぶオスプレイ空奪われし県民哀し

湯島 西村 昭

ありあけの下弦の月の見ゆるまま長く見ていし冬至の夜明け

小石川 白鳥 茂子

胃カメラに写りし胃の腑つやつやと鮮やかに紅き洞窟のごと

千石 菊地 正矩

高齢者あるがままにの記事読みぬ白寿過ぎし身うべない生きん

西片 松林 利枝

俳壇

佐怒賀 正美 選

特選

対岸にむかし煙突冬帽子

向丘 丸岡 正児

天狼の見たる地球に母の居り

千石 竹居 陽一

十六夜の明かり旅の子帰り来ぬ

向丘 高野 伸子

入選

手量りに売る金柑も旅順なり

小石川 中野 千鶴子

暖房なき古き教会コンサート

西片 中島 多津子

脇宮にも律義に賽し初詣

小日向 内野 仙也

別嬪の見舞客なり冬の菊

音羽 森田 幸子

湖を研ぐ風の一日や蕪汁

小日向 林 たかし

皮一枚りんごを残す目白かな

千石 菊地 正矩

雪だるま手をふっているまどの外

本郷 中井 仁美